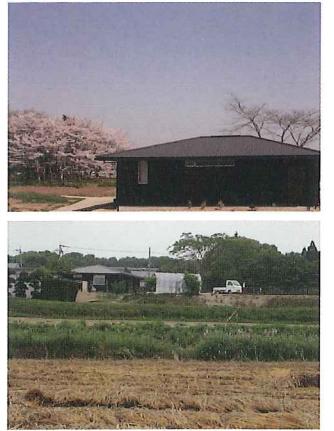


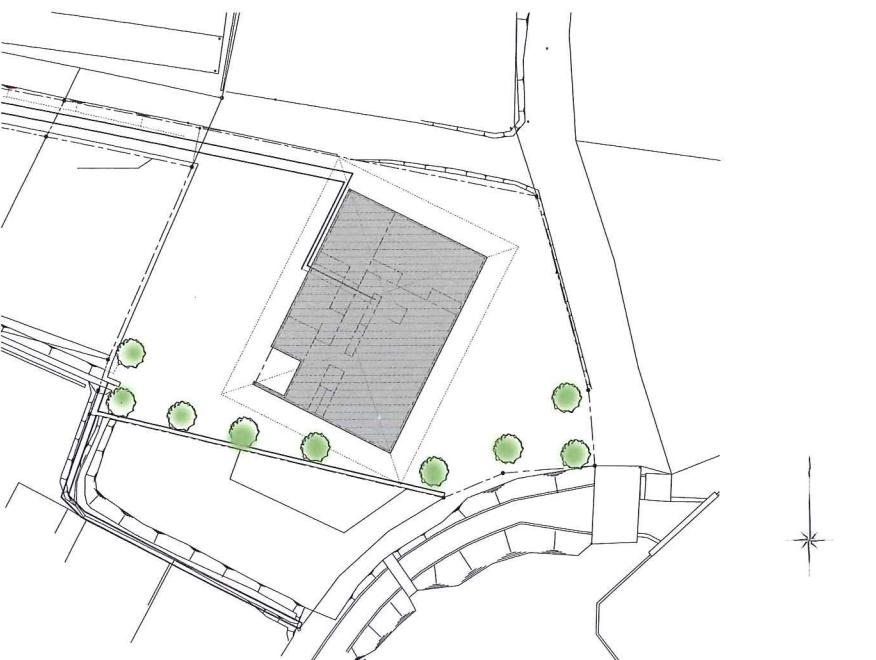
家の個性。

稻美町の自然豊かな土地に
一際目立つ黒い家。
内部も無駄を全て削ぎ落とし
白壁と無垢の床材を使用した
シンプルな空間。
感性の合う設計士との出会いが
あつたからこそ出来た
こだわりの詰まった住宅。
華美ではなく
かといって平凡でもない
飽きのこない美しさがそこにある。



DATA

敷地面積 428.39 m²
建築面積 109.52 m²
床面積 91.02 m² (27.53 坪)





夕方になると高窓から夕日が差込み
廊下の壁まで照らして赤く染める。
奥様のお気に入りの瞬間。



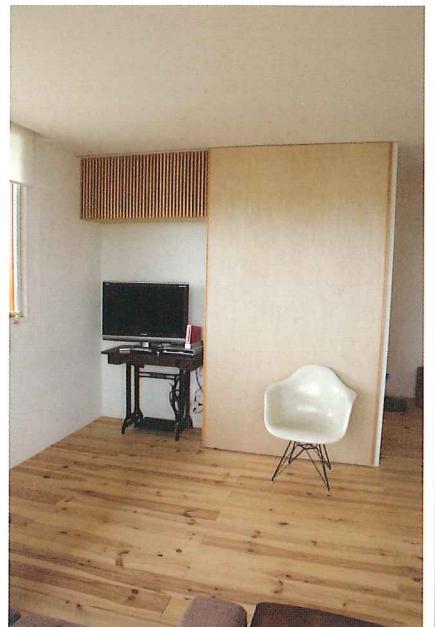
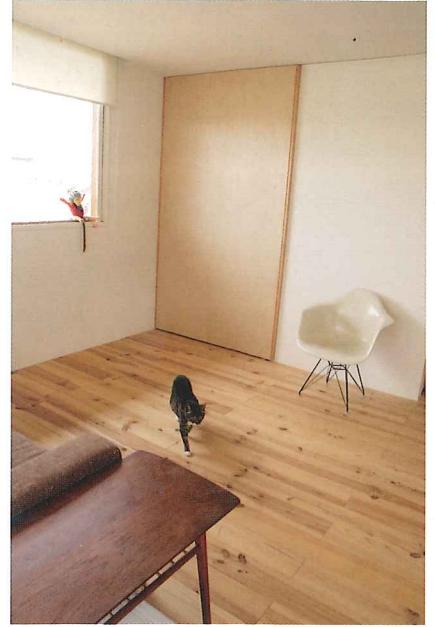
家族の真ん中に あるもの。

快適なリビング・ダイニングを作
るコツは
求心力のある場所にすること。
求心力、簡単にいうと
家族が自然に集まってしまう
そんな場所を作ること。
例えば
ふと眺める視線の先にある景色や
手足を伸ばせる空間・雰囲気が
家族で共有できれば、
おのずとみんなが集まり
語らう場が生まれる。
常に家族の気配が
感じられるこの場所は
生活の中心であり、
落ち着ける
ベースキャンプのような存在。



オープンや食器洗い乾燥機などMさんの支給品のオーダーした
キッチンと組み合わせて背面収納も造作し、統一感をもたせている。





家電嫌いのご主人と共に考えた
スッキリと生活するアイデア。

住まいは暮らし。
生活の中で変化を愉しむ。

家中や庭で
いつも何かが起こっている感じが
好きという。
庭では木々が育ち
実をつけ
家中では子供たちがはしゃぎ
遊び、食べて、眠る。
ネコたちも家中を
自由に動きまわる。
そして自分は
大好きな庭いじりに没頭する。
Mさんにとっての家は
心臓のようなもの。
常になにかを
生み出し続ける場所だ。



構想中の外構はMさん自身で行う予定。
何もなくても子供達にとっては格好の遊
び場所に変わりない。

